

呉工業高等専門学校報

目 次

入 学 式 式 辞	・ ・ ・ ・ ・	2064 頁
卒 業 式 式 辞	・ ・ ・ ・ ・	2014 頁
学 内 規 則	・ ・ ・ ・ ・	2015 頁
人 事 異 動	・ ・ ・ ・ ・	2016 頁
諸 報	・ ・ ・ ・ ・	2018 頁
行 事 日 誌	・ ・ ・ ・ ・	2058 頁
そ の 他	・ ・ ・ ・ ・	2062 頁

入学式式辞

平成 25 年 4 月 3 日

校長 森野 数博

春爛漫の今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者のみなさまをお迎えして、ここに平成 25 年度の入学式を挙げてまいりますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席のみなさま方に対し、心から御礼申し上げます。

ただいま、機械工学科 42 名、電気情報工学科 41 名、環境都市工学科 44 名、建築学科 40 名、合わせて 167 名の一年生、ならびにモンゴルからの留学生 1 名、また、本校を卒業し、専攻科に進学する者 20 名。以上 188 名のみなさんの入学を許可いたしました。

新しく入学あるいは進学されたみなさん。ご入学、おめでとう。呉高専は、みなさんを心から歓迎いたします。専攻科に進学された方々を別にすれば、多くの方々にとって、高専における生活は未知のものでしょう。新しい生活に対する大きな夢と期待、そしてちょっぴり不安を胸に、そこに座っておられることと思います。

さて、これからも、さまざまな機会にみなさんとお話しをすることがあると思いますが、その最初の機会である今日、ひとつだけお話ししておきたいと思っております。それは、昨年度から新たに掲げている本校の教育理念についてです。

昭和 37 年、産業界からの強い要望に応え、理工系学生増員計画のホープとして登場した高専は、高度成長期の日本を支え、我が国の経済発展に大きく貢献してきました。それから半世紀。昨年平成 24 年は、高専制度が創設されてちょうど 50 年目になる節目の年でした。この間高専は、それぞれの時代を背景に、さまざまな工夫や改善を重ね、産業界を中心に高い評価を得てきました。

しかしいま、我が国を取り巻く社会経済環境はめまぐるしく変化しており、日本のものづくりは新たな局面に差しかかっています。激しい国際競争を生き抜くには「高い付加価値の創造」が不可欠で、「国際化」への対応も欠くことはできません。これらイノベーションとグローバル化を踏まえ、本校では、次のふたつを教育理念として掲げています。

ひとつは、「開発研究とものづくりの現場を結ぶ人材であれ」ということです。日本の屋台骨を支えている「ものづくり」、その現場を理解した上で、企画開発力をもった「ものづくりの中核技術者」をめざすというものです。

もうひとつは、「地域から世界へ、人類の幸福に貢献する人材であれ」ということです。ものづくりは、広く人類全体の幸福に貢献するものでなくてはなりません。そのためには専門分野で確かな技術力をもつことはもちろんですが、それだけでなく、異文化を理解し、人類の福祉と平和を念頭に置き、国際社会の持続的発展に貢献できるよう、豊かな人間性を育む必要があります。

これらの背景には、「呉」という恵まれた地域性が念頭に置かれています。ご承知のように、ここ呉は旧海軍の軍港が置かれ、かつては東洋一の技術力を有する海軍工廠をもった町でした。そしていまも、日本を代表する工業都市のひとつであることに変わりはありません。いま改めてそのことを思い起こし、日本のものづくりの拠点として、それにふさわしい人材を輩出することが、呉高専の使命であると考えています。

みなさんはいま、それぞれに将来の夢をもっていることと思います。ここ呉高専で学ぶ知識や技術は、みなさんがそれぞれに抱えている夢を叶える大きな手段です。同時に、知識や技術を学ぶことが、より大きな夢を形作ることにもなるのです。

本日ここに入学あるいは進学されたみなさん。みなさんは、先人達の残してくれたものの上にみなさん自身の夢を重ね、さらにその先をめざして欲しいと思っております。みなさん自身の可能性を信じ、本校の掲げた教育理念のもとで、学業に、研究に、クラブ活動に励んでください。また、ロボコンをはじめ、高専だからこそできるさまざまなコンテストがあります。これらにも積極的に挑んでいただきたいと思っております。

Realize Your Dream.「君の未来を共に創る」。本校がみなさんに呼びかけたキャッチフレーズです。同年代の多くの人は進路を異にし、いろいろな思い入れをもってこの呉高専に入学されたみなさん。みなさんの夢の実現に向け、私をはじめ、本校の教職員は皆、みなさんのもつ可能性が最大限に発揮されるよう努めることをお約束して、式辞といたします。

卒業式式辞

平成 26 年 3 月 18 日

校長 森野 数博

春の息吹が感じられる今日の佳き日、多くのご来賓ならびに保護者のみなさまをお迎えして、ここに呉工業高等専門学校平成 25 年度の卒業式・修了式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席のみなさま方に対し、心から御礼申し上げます。

ただいま、本科の課程を修めた卒業生 154 名、専攻科の課程を修めた修了生 24 名の若者が、本日この学び舎から、新しい道を求めて巣立っていくことになりました。彼らの新たな門出を迎え、これまで彼らを支え、励まし続けていただいた保護者のみなさま、関係者の方々のお力添えに対し、本校を代表して、改めてここに、感謝の意を表したいと存じます。

また、卒業生のなかには、マレーシアからの留学生アティラさん、ラオスからの留学生トー君がいます。母国に思いを馳せながら、呉高専において勉学に励んだその向上心と努力に対し、敬意を表したいと思います。同時に、彼らを温かく育ててくださった留学生里親会をはじめ、地域のみなさま方に、彼らと共に感謝の思いをお伝えしたいと存じます。

卒業生、修了生のみなさん、卒業・修了、おめでとうございます。

みなさんは中学校卒業後、直ちに高等教育機関である本校に入学し、技術者教育を受ける道を選択されました。同世代の若者に先んじて専門的な学問に触れ、短期間で多くのことを学び、ものづくりの中核を担うべき人材を育成する高専の勉強は、かなり厳しかったのではないかと思います。それだけに、本日、無事にこの日を迎えられたみなさんの顔からは、大きな達成感と自信が生まれていることを感じ取ることができます。ほんとうにおめでとうございます。

さて、みなさんが本校に在学していた間、我が国を取り巻く社会・経済環境は急激に、そして大きく変化しました。ひとつは技術革新、イノベーションです。ちょうど半世紀、50年前に開業した新幹線はリニア新幹線に代わろうとしており、営業想定車両で試運転が始まりました。56年前に竣工した東京タワーは東京スカイツリーにバトンを渡し、その役割を終えました。なかでも顕著だったのはコンピュータをベースとした情報技術です。ますます進化したIT技術はインターネットを通して世界をつなげ、スマートホンやタブレットの普及に拍車をかけ、日常生活から社会形態まで、我々の行動様式を変えようとしています。このことがもうひとつの大きな変化、グローバル化の誘因となり、東南アジアを中心とする新興国の躍進を促しています。

翻って我が国は、世界第2位の経済大国であったかつての成功体験の夢から醒めきれず、内向き志向も相まって、気がつけば先進国からは水をあけられ、新興国からも追い上げられ、円高の追い打ちも相まって、我が国の借金は、昨年、とうとう1000兆円を突破するなど、いまや世界から取り残されそうになってきています。このような状況のなかに、みなさんは飛び出していかなければなりません。新たな道に踏み出そうとする者の常である不安感に加え、このような先行きが見えない社会に大きな不安を感じている人もいることでしょう。

そのようなみなさんに、私から二つのことをお勧めしたいと思います。

ひとつは「挑戦」です。

大量生産時代は、誰もが持っている「アレ」をくれ、が世の中のニーズでしたが、いまは、誰も持っていない「何か」が求められるようになりました。異質なものを提案することが、これからみなさんが生き残るためには必須となりましょう。そのためには、グローバルな視点でさまざまなことに広く目を向け、多くの人と交わること。世の中にはいろいろな環境がさらに整いつつあります。たとえば3Dプリンタ。ものづくりの革命を起こすといわれていますが、このようなツールも活用し、日頃から自分を磨くことを心掛けていただきたい。

もうひとつは「失敗を恐れるな」ということです。

人生、全勝したい、と誰しも思います。しかし、それに固執すると大きな仕事はできません。よく、5勝4敗1分けの理論、と言われる。勝ち越せばいいんです。そう吹っ切れると冒険ができます。10回のうち、4回は失敗ができるからです。バットは長く持たないとホームランは打てません。

挑戦には失敗がつきものです。しかし、シリコンバレーでは、失敗したことが勲章だとのこと。不運は得てして好運に変わり、好運は得てして不運に変わります。

みなさんの人生は始まったばかりです。視界は依然として不透明ですが、失敗を恐れず、夢に向かって挑戦していただ

きたい。

Realize Your Dream。本校が掲げているキャッチフレーズです。「君の未来を共に創る」。みなさんが抱いているそれぞれの夢を、みなさんのもつ可能性が最大限に発揮されるよう、これまで私たちがサポートしてきましたが、これからはみなさんが、みなさん自身の可能性を信じ、自分自身で「自分の夢を実現」すべく、精進を続けていただきたい。そして、みなさんには、みなさん自身の夢を実現するだけにとどまらず、「人々の夢を実現」することも大きな使命であると心していただきたいと思います。

Realize Your Dream。みなさんがこれからも成長を続け、人類の未来に貢献されんことを願い、式辞といたします。

学内規則

- 平成 25 年 4 月 1 日 制定
呉工業高等専門学校個人情報管理規則
- 平成 25 年 4 月 2 日 一部改正
呉工業高等専門学校教務委員会規則
呉工業高等専門学校防火対策委員会規則
呉工業高等専門学校 e-ラーニング委員会規則
- 平成 25 年 4 月 10 日 一部改正
呉工業高等専門学校創立 50 周年記念事業実行委員会規則
呉工業高等専門学校教育研究活動等自己点検・評価実施規則
呉工業高等専門学校共同研究実施規則
呉工業高等専門学校受託研究実施規則
呉工業高等専門学校間接経費及び受託料の取扱いに関する申し合わせ
- 平成 25 年 7 月 1 日 一部改正
呉工業高等専門学校寮費会計事務取扱規則
- 平成 25 年 10 月 7 日 一部改正
呉工業高等専門学校共同研究実施規則
呉工業高等専門学校受託研究実施規則
呉工業高等専門学校男女共同参画推進室規則
呉工業高等専門学校広報室規則
呉工業高等専門学校広報室運営要項
- 平成 25 年 11 月 6 日 一部改正
呉工業高等専門学校教員組織規則
- 平成 25 年 12 月 13 日 一部改正
呉工業高等専門学校学生準則
- 平成 26 年 1 月 16 日 一部改正
呉工業高等専門学校教務委員会規則

呉工業高等専門学校教員組織規則
呉工業高等専門学校創立 50 周年記念事業実行委員会規則
呉工業高等専門学校防火対策委員会規則
呉工業高等専門学校入学者選抜委員会規則
呉工業高等専門学校危機管理規則
呉工業高等専門学校長職務代理について（申合せ）
呉工業高等専門学校文書管理規則

○ 平成 26 年 2 月 14 日 制定

呉工業高等専門学校 3D プリンタ 学内運用要項

○ 平成 26 年 2 月 14 日 一部改正

呉工業高等専門学校学則
呉工業高等専門学校教務規則
呉工業高等専門学校協働研究センター利用細則
呉工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規則
呉工業高等専門学校学業成績評価・履修の特例に関する内規
副校長及び校長補佐の名称使用について（申合せ）
呉工業高等専門学校教務申合せ事項

○ 平成 26 年 3 月 12 日 制定

呉工業高等専門学校における非常勤教職員等の雇用期間及び定年に関する申し合わせ

○ 平成 26 年 3 月 12 日 一部改正

呉工業高等専門学校教育センター規則
呉工業高等専門学校図書館規則
呉工業高等専門学校協働研究センター規則
呉工業高等専門学校国際交流室規則
呉工業高等専門学校技術センター規則
呉工業高等専門学校総務委員会規則
呉工業高等専門学校予算計画部会規則
呉工業高等専門学校施設計画部会規則
呉工業高等専門学校教育センター委員会規則
呉工業高等専門学校安全衛生委員会規則
呉工業高等専門学校防火対策委員会規則
呉工業高等専門学校放射線障害防止委員会規則
呉工業高等専門学校教育研究活動等自己点検・評価実施規則
呉工業高等専門学校知的財産権取扱規則
呉工業高等専門学校授業料免除選考基準
呉工業高等専門学校独立行政法人日本学生支援機構奨学生推薦基準

○ 平成 26 年 3 月 12 日 廃止

呉工業高等専門学校人事計画部会規則
呉工業高等専門学校将来計画推進部会規則

人事異動

(教 員)

発令年月日	異動後の職名等	氏 名	異動前の職名等
25. 4. 1	豊田工業高等専門学校准教授	山岡 俊一	呉工業高等専門学校准教授 (環境都市工学分野)
"	呉工業高等専門学校准教授 (採用) (人文社会系分野)	川崎 由花	
"	呉工業高等専門学校准教授 (採用) (自然科学系分野)	川勝 望	
"	呉工業高等専門学校准教授 (採用) (自然科学系分野)	田中 慎一	
"	呉工業高等専門学校教授 (採用) (機械工学分野)	尾川 茂	
"	呉工業高等専門学校教授 (採用) (機械工学分野)	西坂 強	
"	呉工業高等専門学校助教 (採用) (環境都市工学分野)	谷川 大輔	
"	呉工業高等専門学校准教授 (自然科学系分野)	赤池 祐次	東京工業高等専門学校准教授
"	呉工業高等専門学校准教授 (昇任) (自然科学系分野)	影山 優	呉工業高等専門学校講師 (自然科学系分野)
"	呉工業高等専門学校教授 (昇任) (電気情報工学分野)	藤井 敏則	呉工業高等専門学校准教授 (電気情報工学分野)
"	呉工業高等専門学校教授 (昇任) (環境都市工学分野)	及川 栄作	呉工業高等専門学校准教授 (環境都市工学分野)
"	呉工業高等専門学校准教授 (昇任) (建築学分野)	下倉 玲子	呉工業高等専門学校助教 (建築学分野)
"	呉工業高等専門学校嘱託教授 (再雇用)	小山 通榮	
"	呉工業高等専門学校嘱託教授 (再雇用)	左古 悦雄	
"	呉工業高等専門学校嘱託教授 (再雇用)	植田 義文	
25. 9. 1	呉工業高等専門学校助教 (採用) (機械工学分野)	國安 美子	
25.12.31	辞職	岩城 裕之	呉工業高等専門学校准教授 (人文社会分野)
26. 3.31	定年退職	谷岡 憲三	呉工業高等専門学校教授 (人文社会系分野)
"	辞職	高津 康幸	呉工業高等専門学校教授 (機械工学分野)
"	"	竹内 準一	呉工業高等専門学校教授

			(環境都市工学分野)
〃	再雇用期間満了退職	岡中 正三	呉工業高等専門学校嘱託教授
〃	〃	川尻 武信	呉工業高等専門学校嘱託教授
〃	〃	寺岡 勝	呉工業高等専門学校嘱託教授

(職 員)

発令年月日	異動後の職名等	氏 名	異動前の職名等
25. 4. 1	群馬高等専門学校事務部長	植田 淳一	事務部長
〃	鳥取大学研究協力課長	朝國 誠司	総務課長
〃	広島大学医歯薬保健学研究所総務支援グループ主査(総務主担当)	佐々木 浩	総務課庶務室企画係長
〃	事務部長	愛場 優治	情報・システム研究機構事務局総務課長
〃	総務課長	貞野 修一郎	徳山工業高等専門学校学生課学生係長
〃	総務課庶務室長(総務課庶務室総務係長併任)	池口 和敏	広島大学病院 SPD センター主査(医薬品・材料契約主担当)
〃	総務課庶務室人事係(採用)	立川 泰裕	
〃	総務課会計室施設係	門出 慶子	香川大学環境管理室環境整備グループ(建築担当)
〃	総務課庶務室企画係長	濱口 祥世	総務課庶務室総務係長
〃	総務課会計室用度係	甲田 啓	総務課庶務室人事係
〃	総務課会計室財務係	笹原 純平	総務課会計室用度係
〃	学生課学生係	小道 健太朗	総務課会計室財務係
〃	学生課学術情報係	松崎 秀幸	学生課学生係
〃	総務課会計室施設係(再雇用)	木村 学	
〃	学生課教務係(再雇用)	砂田 愛子	
25. 7. 1	総務課庶務室総務係総務主任(昇任)	近藤 教文	総務課庶務室総務係
〃	総務課会計室用度係用度主任	甲田 啓	総務課会計室用度係

	(昇任)		
26.3.31	定年退職	多田 朋子	総務課会計室用度係長
"	辞職	辻 梨沙	技術センター
"	再雇用期間満了退職	平山 德行	学生課学生生活支援係

諸 報

○ 平成 25 年度入学式

4 月 3 日 (水) 午前 9 時 40 分から本校第一体育館において来賓及び保護者ご臨席のもと、平成 25 年度本科及び専攻科の入学式が厳粛に挙行された。

校長から入学許可宣言があり、広島大学大学院工学研究院長及び後援会会長からご祝辞をいただいた。

なお、入学者の学科 (専攻) 別内訳は次のとおりである。

学科 (専攻) 名		入学者数	編入学者数	
			第 3 学年 (外国人留学生)	第 4 学年
本 科	機 械 工 学 科	42 (1)	0 (0)	0 (0)
	電 気 情 報 工 学 科	41 (3)	0 (0)	0 (0)
	環 境 都 市 工 学 科	44 (6)	0 (0)	0 (0)
	建 築 学 科	40 (12)	1 (0)	0 (0)
	計	167 (22)	1 (0)	0 (0)
専 攻 科	機械電気工学専攻	11 (1)	/	
	建設工学専攻	9 (0)		
	計	20 (1)		

注) () 内の数字は、内数で女子を示す。

○ 平成 25 年度卒業式及び専攻科修了式

3 月 18 日 (火) 午前 10 時から本校第一体育館において、来賓及び保護者のご臨席のもと、第 46 回卒業式及び第 17 回専攻科修了式が盛大に挙行された。

卒業生及び専攻科修了生は、校長から卒業証書又は修了証書を授与され、JABEE 認定技術者教育プログラム修了者には同修了証書が授与された。

広島大学大学院工学研究院長及び後援会会長からご祝辞を、また、国立高等専門学校機構理事長をはじめとする各方面からの多数のご祝電等をいただき、来賓、保護者、教職員及び在学生の祝福と激励を受けて呉工業高等専門学校を巣立っていった。

なお、卒業生及び専攻科修了生の学科 (専攻) 別内訳は次のとおりである。

学科(専攻)別		卒業(修了)者数
本科	機械工学科	42 (1)
	電機情報工学科	39 (3)
	環境都市工学科	37 (8)
	建築学科	36 (10)
	計	154 (22)
専攻科	機械電気工学専攻	13 (0)
	建設工学専攻	11 (3)
	計	24 (3)

また、学業成績優秀者及び学会表彰等の褒章を次の者に授与した。

<学業成績優秀者>

学業成績 優 秀 者	機 械 工 学 科	竹田 淳平
	電 機 情 報 工 学 科	山本 悠樹
	環 境 都 市 工 学 科	須藤 佑朔
	建 築 学 科	池本 倫也
	機 械 電 気 工 学 専 攻	鎌倉 諒
	建 設 工 学 専 攻	古屋 智郷

<学会賞>

日本機械学会 畠山賞	機 械 工 学 科	新田 将
電気・情報関連学会 中国支部長賞	電 気 情 報 工 学 科	山根 貴大
全国高専土木工学会 近藤賞	環 境 都 市 工 学 科	西岡 恵里奈
日本建築学会中国支部 優秀卒業生	建 築 学 科	森川 翔平
日本建築学会中国支部 構造賞・卒業研究賞	建 設 工 学 専 攻	川口 佑紀

<特別賞>

第 6 回 3 次元デジタル設計造形コンテスト 優秀賞

機 械 工 学 科 田中 匠太郎
機 械 工 学 科 林 信吾
機 械 工 学 科 船本 浩司
機 械 工 学 科 横部 健

第 48 回全国高専体育大会ソフトテニス競技個人戦 3 位

第 63 回広島県高校ソフトテニス総合体育大会団体戦 3 位

第 57 回広島県高校ソフトテニス新人選手権大会個人戦 3 位

機 械 工 学 科 森上 祥伍
建 築 学 科 森川 翔平

○ 平成 25 年度 役職員一覧 (平成 25 年 4 月 1 日)

役 職	氏 名
校 長	森野 数博
副 校 長	黒木 太司
事 務 部 長	愛場 優治
教 務 主 事 (校 長 補 佐)	森脇 武夫
専 攻 科 長	
教 務 主 事 補	富村 憲貴
	林 和彦
	井上 浩孝
	佐々木 伸子
学 生 主 事 (校 長 補 佐)	篠部 裕
学 生 主 事 補	上寺 哲也
	加納 誠二
	大和 義昭
寮 務 主 事 (校 長 補 佐)	高津 康幸
寮 務 主 事 補	影山 優
	山田 祐士
	板東 能生
	谷川 大輔
	光井 周平
	蒲地 祐子
人 文 社 会 系 分 野 代 表	宇根 俊範
自 然 科 学 系 分 野 代 表	森 貞雄
機 械 工 学 分 野 代 表	中迫 正一
電 気 情 報 工 学 分 野 代 表	田中 誠
環 境 都 市 工 学 分 野 代 表	竹内 準一
建 築 学 分 野 代 表	間瀬 実郎
教 養 教 育 主 任	宇根 俊範
機 械 工 学 科 教 育 主 任	中迫 正一
電 気 情 報 工 学 科 教 育 主 任	田中 誠
環 境 都 市 工 学 科 教 育 主 任	及川 栄作
建 築 学 科 教 育 主 任	松野 一成
機 械 電 気 工 学 専 攻 教 育 主 任	岩本 英久
建 設 工 学 専 攻 教 育 主 任	黒川 岳司
教 育 セ ン タ ー 長	森脇 武夫
教育センター基盤部門長 兼 図書館長	笠井 聖二
教育センター 総合教育推進部門長	山田 宏
協 働 研 究 セ ン タ ー 長	黒木 太司
技 術 セ ン タ ー 長	岩本 英久
広 報 室 長	黒木 太司
学 生 相 談 室 長	岩城 裕之
国 際 交 流 室 長	竹内 準一

育 部	ワグナーフォゲル・スキー部	○佐賀野 健		
	サッカー部	○岩本 英久	森脇 武夫	西坂 強
	水泳部	○堀口 至	中迫 正一	
	アーチェリー部	○松野 一成	横瀬 義雄	西宮 善幸
	ハンドボール部	○河村 進一	蒲地 祐子	
	テニス部	○林 和彦	川勝 望	仁保 裕
	ラグビー部	○木原 滋哉	三村 陽一	山脇 正雄
	空手道部	深澤 謙次		
	ソフトボール部	○山崎 勉		
	バドミントン部	○大和 義昭	上杉 裕子	
	女子バレー部	○外谷 昭洋	泉 洋輔	
	女子バスケ部	○市崎 一章	重松 尚久	
	ダンス部	下倉 玲子		
	同 好 会	将棋同好会	横沼 実雄	フットサル同好会
囲碁同好会		森 貞雄	軟式野球同好会	山田 祐士
演劇同好会		岩城 裕之	筋トレ同好会	山田 祐士
ピアノ同好会		外村 彰	ヨーヨー同好会	平野 旭
漫画研究同好会		竹内 準一	機械機構同好会	山田 宏
アカペラ同好会		蒲地 祐子	ボウリング同好会	重松 尚久
書道同好会		仁保 裕		
そ の 他	人権問題研究会	篠部 裕		
	インターアクトクラブ	○光井 周平	高津 康幸	竹内 準一
	ロボット製作クラブ	○山田 祐士	野村 高広	高津 康幸

○ 公開講座

1. 2級建築士学科試験受験講座

日 時 平成 25 年 4 月 6 日～6 月 1 日 各土曜日 計 8 回

対 象 一般

場 所 建築学科棟 1 階 5 年教室

講 師 建築学分野教員

受講者 5 人

2. 組込みシステムにおけるプログラム開発セミナー

日 時 平成 25 年 12 月 6 日 (金), 13 日 (金)

対 象 組込みシステムの入門者

場 所 広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター及び西部工業技術センター

講 師 ルネサスエレクトロニクス社からの講師

受講者 15 人

○ 呉高専オープンカレッジネットワーク会議公開講座

海外旅行で役立つ英語～これだけは知っておきたい～

日 時 平成 25 年 7 月 13 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 大和ミュージアム
講 師 人文社会系分野 上杉 裕子
受講者 32 人

○ 呉高専市民セミナー

1. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 1 回開講式・ガイダンス～防災工学の概論～

日 時 平成 25 年 5 月 18 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二
受講者 41 人

2. エジソン・スクール第 1 回電気を「作る」発電実験とソーラー・カーの製作

日 時 平成 25 年 5 月 25 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 電気情報工学科棟 電気電子工学実験室
講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄
受講者 38 人

3. 土の生き物を観察しよう

日 時 平成 25 年 6 月 1 日 (土)
対 象 小学 5 年生以上
場 所 環境都市工学科棟 衛生工学実験室
講 師 環境都市工学分野 竹内 準一
受講者 4 人

4. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 2 回日本の地震と地震被害～

日 時 平成 25 年 6 月 15 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二
受講者 43 人

5. エジソン・スクール第 2 回電気を「蓄える」蓄電実験と電気自動車ミニ EV の製作

日 時 平成 26 年 6 月 29 日
対 象 中学生以上
場 所 電気情報工学科棟 電気電子工学実験室
講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄
受講者 55 人

6. 賢治童話「よだかの星」「セロひきのゴーシュ」を読む

日 時 平成 25 年 7 月 6 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 図書館棟 視聴覚室
講 師 人文社会系分野 外村 彰

受講者 8 人

7. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 3 回豪雨と土砂災害

日 時 平成 25 年 7 月 20 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 呉市防災センター

講 師 環境都市工学分野 加納 誠二

受講者 48 人

8. 地形模型をつくってみよう

日 時 平成 25 年 7 月 20 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 環境都市工学科棟 製図室

講 師 環境都市工学分野 河村 進一, 重松 尚久

受講者 13 人

9. エジソン・スクール第 3 回電気を「動きにする」フレミングの実験と手作りモーターの製作

日 時 平成 25 年 7 月 27 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 電気情報工学科棟 電気電子工学実験室

講 師 電気情報工学科 横沼 実雄

受講者 37 人

10. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 4 回台風と高潮・洪水被害

日 時 平成 25 年 8 月 24 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 呉市防災センター

講 師 環境都市工学分野 加納 誠二

受講者 40 人

11. 建物を生活に描こう！2 点パース (透視図) 講座

日 時 平成 25 年 8 月 17 日 (土), 24 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 環境都市工学科棟 3 階 創造演習室

講 師 建築学分野 間瀬 実郎

受講者 14 人

12. エジソン・スクール第 4 回夏休み特別企画 ロボット (ライントレーサー) の製作

日 時 平成 25 年 8 月 17 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 電気情報工学科棟 電気電子工学実験室

講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄

受講者 43 人

13. 防災マップ作り体験

日 時 平成 25 年 8 月 20 日 (火)
対 象 小学 5 年生以上
場 所 環境都市工学科棟 製図室
講 師 環境都市工学分野 河村 進一, 加納 誠二
受講者 3 人

14. 魚ロボットの製作と競技

日 時 平成 25 年 8 月 27 日 (火)
対 象 小学生以上
場 所 機械工学科棟 製図室
講 師 機械工学分野 野村 高広, 山田 祐士
受講者 26 人

15. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 5 回火山災害・山火事

日 時 平成 25 年 9 月 21 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二
受講者 45 人

16. エジソン・スクール第 5 回電気を「音にする」音の実験と鉛筆電子楽器の製作

日 時 平成 25 年 9 月 28 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 電気情報工学科棟 電気電子工作実験室
講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄
受講者 35 人

17. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 6 回防災組織と防災体制

日 時 平成 25 年 10 月 26 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二
受講者 42 人

18. 社会人エンジニアのための英語・再入門

日 時 平成 25 年 10 月 27 日 (日)
対 象 社会人
場 所 専攻科棟 第 2 メディア演習室
講 師 環境都市工学分野 竹内 準一
受講者 8 人

19. エジソン・スクール第 6 回電気で「計る」センサの実験とセンサ・ライトの製作

日 時 平成 25 年 10 月 26 日 (土)
対 象 中学生以上

場 所 電気情報工学科棟 電気電子工作実験室
講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄
受講者 25 人

20. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 7 回防災図上訓練

日 時 平成 25 年 11 月 16 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二
受講者 41 人

21. エジソン・スクール第 7 回電気を「光にする」色と光の実験とクリスマス・イルミネーションの製作

日 時 平成 25 年 11 月 30 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 電気情報工学科棟 電気電子工学実験室
講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄
受講者 38 人

22. コンクリートのペーパーウェイトを作ってみよう！

日 時 平成 25 年 12 月 7 日 (土), 8 日 (日)
対 象 小学 5 年生以上
場 所 環境都市工学科棟
講 師 環境都市工学分野 堀口 至, 三村 陽一
受講者 7 人

23. エジソン・スクール第 8 回電気を「組み合わせて使う」ロボット用電子回路の実験とライントレーサーの製作

日 時 平成 25 年 12 月 14 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 電気情報工学科棟 電気電子工学実験室
講 師 電気情報工学分野 横沼 実雄
受講者 28 人

24. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 8 回避難所と図上訓練

日 時 平成 25 年 12 月 21 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二
受講者 44 人

25. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 9 回災害ボランティア

日 時 平成 26 年 1 月 11 日 (土)
対 象 中学生以上
場 所 呉市防災センター
講 師 環境都市工学分野 加納 誠二

受講者 46 人

26. 防災工学～自主防災組織を育てる～第 10 回救命講習・閉講式

日 時 平成 26 年 2 月 15 日 (土)

対 象 中学生以上

場 所 呉市防災センター

講 師 環境都市工学分野 加納 誠二

受講者 44 人

○ 出前授業

1. 簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 6 月 14 日 (金)

場 所 三次市立吉舎中学校

講 師 機械工学分野 野村 高広

受講者 40 人

2. 簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 7 月 5 日 (金)

場 所 広島市立五日市南中学校

講 師 機械工学分野 野村 高広

受講者 40 人

3. チョークをねじるとなぜ 45° で壊れるの？

日 時 平成 25 年 7 月 17 日 (水)

場 所 呉市立豊中学校

講 師 校長 森野 数博

受講者 6 人

4. 簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 8 月 7 日 (水)

場 所 呉市小学校理科部会

講 師 機械工学分野 野村 高広

受講者 40 人 (呉市小学校教諭)

5. 簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 8 月 20 日 (火)

場 所 熊野町公民館

講 師 機械工学分野 野村 高広

受講者 30 人

6. 飛び出す建築をつくろう！

日 時 平成 25 年 8 月 27 日 (火)

場 所 呉市立仁方中学校

講 師 建築学分野 下倉 玲子

受講者 10 名

7. 簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 9 月 11 日 (水)
場 所 江田島市立大柿中学校
講 師 機械工学分野 野村 高広
受講者 32 人

8. 簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 9 月 17 日 (火)
場 所 江田島市立能美中学校
講 師 機械工学分野 野村 高広
受講者 34 人

9. ひかりの不思議

日 時 平成 25 年 11 月 1 日 (金)
場 所 広島市立早稲田中学校
講 師 電気情報工学分野 黒木 太司
受講者 20 人

○ 大和ミュージアム休日イベント

1. 「オリチェア」工作

日 時 平成 25 年 9 月 16 日 (月)
講 師 建築学分野 間瀬 実郎

2. ブラックホールの不思議

日 時 平成 26 年 2 月 11 日 (火)
講 師 自然科学系分野 川勝 望

3. セイリングカー

日 時 平成 26 年 3 月 21 日 (金)
講 師 電気情報工学分野 平野 旭

○ 大和ミュージアム工作教室

簡単なロボットの製作

日 時 平成 25 年 10 月 27 日 (火)
講 師 機械工学分野 野村 高広

○ 共同研究

件 数 12 件
金 額 6,110 (千円)

○ 受託研究

件 数 1 件
金 額 2,769 (千円)

○ 科研費（研究代表者分）

1. 研究種目 基盤研究 (C) 継続
研究代表者 人文社会系分野 岩城 裕之
研究課題 言語聴覚士が利用できる標準失語症検査に対応した方言資料の作成
2. 研究種目 基盤研究 (C) 継続
研究代表者 機械工学分野 中迫 正一
研究課題 金属ナノ粒子含有潤滑油のトライボロジー特性及び動力伝達性能
3. 研究種目 基盤研究 (C) 継続
研究代表者 環境都市工学分野 加納 誠二
研究課題 牡蠣殻と日本在来種の微生物を用いた地盤改良工法
4. 研究種目 挑戦的萌芽研究 継続
研究代表者 機械工学分野 岩本 英久
研究課題 基本手術手技伝承システムの開発
5. 研究種目 若手研究 (B) 継続
研究代表者 吉川 祐樹
研究課題 パス遅延テスト容易性を考慮した高位合成システムの開発
6. 研究種目 若手研究 (B) 継続
研究代表者 堀口 至
研究課題 コケ類を用いた牡蠣殻ポーラスコンクリートの植生基盤材料の開発に関する研究
7. 研究種目 基盤研究 (C) 新規
研究代表者 大和 義昭
研究課題 日本の住宅における温熱環境評価のための新しい着衣熱抵抗の測定方法の検討
8. 研究種目 基盤研究 (C) 新規
研究代表者 篠部 裕
研究課題 空き家の適正管理条例と解体除却事業に関する調査研究
9. 研究種目 挑戦的萌芽研究 新規
研究代表者 外谷 昭洋
研究課題 電気系複合シミュレータの開発と教育への適用
10. 研究種目 挑戦的萌芽研究 新規
研究代表者 林 和彦
研究課題 リバースエンジニアリングを活用したものづくり教育の開発研究
11. 研究種目 若手研究 (B) 新規
研究代表者 川勝 望
研究課題 活動銀河核ジェット残骸の多波長スペクトルから迫る無衝突衝撃波の物理

12. 研究種目 若手研究 (B) 新規
研究代表者 田中 慎一
研究課題 白金ナノクラスター蛍光・電子顕微鏡両用プローブを利用した生命機能可視化技術の創成

○ フォーラム等

1. イノベーション・ジャパン 2013—大学見本市—
日 時 平成 25 年 8 月 29 日 (木) ～8 月 30 日 (金)
場 所 東京ビッグサイト
出展者 電気情報工学分野 黒木 太司
2. 第 11 回全国高専テクノフォーラム
日 時 平成 25 年 8 月 20 日 (火)
場 所 愛知県産業労働センター
出展者 電気情報工学分野 板東 能生, 建築学分野 松野 一成
3. 2013 くれエコフェスタ
日 時 平成 25 年 9 月 28 日 (土)
場 所 呉ポートピアパーク
出展者 電気情報工学分野教員及び電気情報工学科学生

○ 海外との交流

1. ハワイ大学マウイ校ホームステイ語学研修
日 時 平成 25 年 9 月 1 日 (日) ～9 月 11 日 (水)
研修先 アメリカ合衆国・ハワイ大学マウイ校
引 率 環境都市工学分野 竹内 準一, 人文社会系分野 上杉 裕子
参加者 23 人
2. 大連・異文化体験プログラム
日 時 平成 25 年 9 月 9 日 (月) ～9 月 13 日 (金)
研修先 中国・大連大学
引 率 機械工学分野 尾川 茂, 電気情報工学分野 外谷 昭洋, 環境都市工学分野 加納 誠二,
国際交流室 上田 美紀
参加者 20 人
3. 北米地域との青少年交流 (米国事業) 青少年短期派遣事業 (高校生)
日 時 平成 26 年 3 月 16 日 (日) ～3 月 29 日 (土)
研修先 アメリカ合衆国・各地
引 率 環境都市工学分野 加納 誠二, 人文社会系分野 上杉 裕子
参加者 23 人

○ 研修・研究集会・フォーラム等

1. 第 59 回寮生指導者研修会
期 間 平成 25 年 4 月 20 日 (土) 13 時～16 時
場 所 呉工業高等専門学校 視聴覚教室

参加者 36名(寮生会役員及びライフマスター:28名, 教職員:8名)

2. 平成 25 年度独立行政法人国立高等専門学校機構初任職員研修会
期 日 平成 25 年 4 月 22 日(月)~24 日(水)
会 場 学術総合センター
参加者 立川 泰裕
3. 第 39 回中国地区係長研修
期 日 平成 25 年 6 月 4 日(火)~6 日(木)
会 場 広島合同庁舎
参加者 岩佐 浩子
4. 平成 25 年度広島大学新任主査研修
期 日 平成 25 年 6 月 17 日(月)~6 月 19 日(木)
会 場 広島大学
参加者 鳥山 剛
5. 第 42 回中国地区中堅係員研修
期 日 平成 25 年 7 月 2 日(火)~5 日(金)
会 場 広島合同庁舎
参加者 甲田 啓
6. 平成 25 年度独立行政法人国立高等専門学校機構新任課長補佐・係長研修会
期 日 平成 25 年 7 月 9 日(火)~10 日(水)
会 場 学術総合センター
参加者 池口 和敏
7. 平成 25 年度中国地区高等専門学校技術職員研修
期 日 平成 25 年 8 月 19 日(月)~20 日(火)
会 場 津山工業高等専門学校
参加者 佐々木 智大, 尾上 冴子
8. 平成 25 年度中国地区高等専門学校技術支援組織長会議
期 日 平成 25 年 8 月 19 日(月)~20 日(火)
会 場 津山工業高等専門学校
参加者 岩本 英久
9. 平成 25 年度全国高専教育フォーラム
期 日 平成 25 年 8 月 21 日(水)~23 日(金)
会 場 豊橋技術科学大学
参加者 笠井 聖二, 森脇 武夫, 山田 祐士,
山田 千鶴, 林 和彦, 仁保 裕,
加納 誠二, 黒木 太司, 加藤 省二

10. 平成 25 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員マネジメント研究会
期 日 平成 25 年 8 月 22 日(木)～23 日(金)
会 場 鳥取大学
参加者 佐々木 智大

11. 平成 25 年度高等専門学校新任教員研修会
期 日 平成 25 年 8 月 28 日(水)～30 日(金)
会 場 独立行政法人国立オリンピック記念
青少年総合センター
参加者 岩城 考信, 川勝 望, 川崎 由花,
田中 慎一, 谷川 大輔, 西坂 強,
山脇 正雄

12. 平成 25 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修
期 日 平成 25 年 8 月 28 日(水)～30 日(金)
会 場 香川大学
参加者 吉利用之

13. 平成 25 年度独立行政法人国立高等専門学校機構高等専門学校教員研修
(クラス経営・生活指導研修会)
期 日 平成 25 年 9 月 3 日(火)～5 日(木)
会 場 学術総合センター
参加者 富村 憲貴, 大和 義昭

14. 平成 25 年度独立行政法人国立高等専門学校機構高等専門学校教員研修 (管理職研修)
期 日 平成 25 年 9 月 12 日(木)～13 日(金)
会 場 科学技術館
参加者 松野 一成

15. 第 60 回寮生指導者研修会
期 間 平成 25 年 10 月 21 日(月) 9 時～16 時
場 所 グリーンピアせとうち
参加者 37 名(寮生会役員及びライフマスター:29 名, 教職員:8 名)

16. 平成 25 年度中国・四国地区国立大学法人等労務担当職員研修会
期 日 平成 25 年 11 月 7 日(木)～8 日(金)
会 場 岡山大学
参加者 鳥山 剛

17. 平成 25 年度中国・四国地区国立大学法人等労働安全衛生協議会
期 日 平成 25 年 11 月 28 日(木)～29 日(金)
会 場 島根大学
参加者 愛場 優治

18. ハラスメント防止講演会
期 日 平成 25 年 12 月 11 日(水)
場 所 第一会議室
講 師 社会保険労務士 竹林 貢
演 題 ハラスメントをめぐる労働問題
対 象 教職員
19. 平成 25 年度安全衛生に関する講習会
期 日 平成 26 年 1 月 29 日(水)
場 所 第一会議室
講 師 広島大学保健管理センター 准教授 岡本 百合
演 題 教職員のメンタルヘルス
対 象 教職員

○ 表彰

1. 安全標語の表彰

期 日 平成 25 年 7 月 4 日(木)
場 所 校長室
表彰者 学生 4 名 園部 雄希, 小川 将大, 大坪 拓矢, 川元 洋介

2. 永年勤続者表彰

期 日 平成 25 年 11 月 20 日(水)
場 所 校長室
氏 名 木原 滋哉, 佐々木 伸子, 池元 浩一郎
(独立行政法人国立高等専門学校機構教職員表彰規則に基づき平成 25 年 11 月 23 日付けで表彰)

3. 平成 25 年度校長表彰

期 日 平成 26 年 3 月 28 日(金)
場 所 校長室
氏 名 佐々木 伸子, 林 和彦
(呉高専校長表彰規則に基づく表彰)

4. 永年勤続者表彰

期 日 平成 26 年 3 月 28 日(金)
場 所 第二会議室
氏 名 谷岡 憲三, 多田 朋子
(独立行政法人国立高等専門学校機構教職員表彰規則に基づき平成 26 年 3 月 31 日付けで表彰)

5. 名誉教授称号の授与

期 日 平成 26 年 3 月 28 日(金)
場 所 第二会議室
氏 名 谷岡 憲三
(本校名誉教授称号授与規則に基づき平成 26 年 4 月 1 日付けで表彰)

○ 学校行事

1. 第 48 回全国高等専門学校体育大会

期日 平成 25 年 8 月 16 日 (金) ~9 月 1 日 (日)

会場 東北地区高専およびその周辺の競技会場

成績

陸上競技

【男子】 800m 予選 6 位 C4 八山 亮太
予選 6 位 A1 松本 紘幸
5000m 決勝 15 位 E4 松本 直樹
走高跳 10 位 M4 中村 和真
走幅跳 決勝 7 位 C4 薙野 智弥
三段跳 決勝 5 位 C4 薙野 智弥
円盤投 16 位 E2 栗栖 裕紀
20 位 C3 山中 勇人

剣道

【男子】 個人 初戦敗退 M4 佐藤 大志
【女子】 個人 ベスト 8 A2 吉本 菜那

ソフトテニス

【男子】 ダブルス 3 位 A5 森川 翔平 M5 森上 祥伍
ベスト 8 C3 磯本 侑真 A2 山本 拓実
【女子】 ダブルス ベスト 8 A2 矢野 明日香 A2 矢野 遥香

2. 第 95 回全国高等学校野球選手権記念大会広島大会

期日 平成 25 年 7 月 13 日 (土)

呉高専 3-5 宮島工

3. 第 22 回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会

期日 平成 25 年 8 月 22 日 (木) ~23 日 (金)

会場 しあわせの村アーチェリー場

主管 奈良工業高等専門学校

成績 団体戦男子 準優勝 個人 30m (ダブル) 男子 1 位 A1 小正 浩貴

4. 第 9 回呉高専文化行事「“Funcussion” コンサート」

本校では、普段なかなか触れることのできない芸術の鑑賞や、各界で活躍する著名人の講演などを行っている。

今年度は“Funcussion”を招いて、身近に楽しむ打楽器パーカッションとブラスセクションを交えた演奏の鑑賞を行った。

期日 平成 25 年 12 月 3 日 (火)

場所 呉市文化ホール

参加者 全学生、教職員、保護者、一般市民

5. 全国高等専門学校第 24 回プログラミングコンテスト

期日 平成 25 年 10 月 13 日 (日) ~14 日 (月)

会場 旭川市民文化会館

主管校 旭川工業高等専門学校

成績 賞に該当なし

競技部門 E5 平井 勇大

E5 山本 和空

E5 佐藤 憲治

6. 第 9 回ステップキャンパス

高専における学生生活が中だるみに陥りがちな第 3 学年の学生を対象に、自然環境のなかでさまざまな野外活動を満喫し、気分を一新し、併せて対話の機会を持ち、お互いに連帯感を深め、有意義な学生生活を送る契機になることを目的としてステップキャンパスを次のとおり実施した。

期日 平成 25 年 10 月 9 日 (水) ~11 日 (金)

場所 野呂山及び呉工業高等専門学校

参加者 学生 第 3 学年 161 名 (男子 137 名, 女子 24 名)

教職員 篠部 裕, 大和 義昭, 加納 誠二, 上寺 哲也, 深澤 謙次, 平野 旭,
赤池 祐次, 下倉 玲子

7. アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2013 中国地区大会

期日 平成 25 年 10 月 19 日 (土) ~20 日 (日)

場所 バタフライアリーナ (柳井市体育館)

成績 A チーム「秀星」 2 回戦敗退 技術賞受賞

B チーム「跳跳!」 初戦敗退

8. 第 49 回中国地区高等専門学校体育大会 (冬季大会)

期 日 平成 25 年 11 月 8 日 (金) ~10 日 (日)

会 場 米子市東山ラグビー・サッカー場

主管校 米子工業高等専門学校

種 目 ラグビーフットボール

成 績 B パート 2 位

9. 第 29 回中国地区高等専門学校英語弁論大会

期 日 平成 25 年 11 月 15 日 (金)・16 日 (土)

会 場 米子全日空ホテル

主管校 米子工業高等専門学校

成 績 スピーチ部門

A2 松下 菜緒 13 位 C3 中曾 萌 7 位

暗誦部門

A1 兼本 紘希 6 位 A2 寺延 翼 3 位 (入賞)

10. 全国高等専門学校デザインコンペティション 2013

期 日 平成 25 年 11 月 9 日 (土) ~10 日 (日)

会 場 米子コンベンションセンター

主管校 米子工業高等専門学校

成 績 創造デザイン部門

「アーチボックス」 審査員特別賞

A5 谷本昂揚 A5 柳川かえで A4 堤 光希 A4 下寺 孝典 A4 矢木 皓子

11. 第 6 回 3 次元デジタル設計造形コンテスト
 期 日 平成 25 年 11 月 9 日 (土) ～10 日 (日)
 会 場 米子コンベンションセンター
 主管校 米子工業高等専門学校
 成 績 優秀賞 F. O. D. M5 田中匠太郎 M5 林 信吾 M5 船本浩司 M5 横部 健
12. 第 49 回高専祭
 期 日 平成 25 年 11 月 2 日 (土) ～3 日 (月)
 テーマ 「MY COLOR」
 催し物 学科展示, クラブ展示, 演奏会, ライブ, ダンスパーティ, 映画会, 模擬店等
13. 第 45 回スポーツリーダーズセミナー
 健全で明朗な学生生活を維持するうえで重要なスポーツ活動をより一層活発にするため, 運動部の指導者を対象として, スポーツリーダーズセミナーを次のとおり実施した。
 期 日 平成 25 年 12 月 19 日 (木)
 場 所 呉工業高等専門学校 静心館第 2 研修室, ウエイトトレーニングルーム
 参加者 運動部学生 40 名, 保健体育委員学生 2 名
 教職員 篠部 裕, 加納 誠二, 小 道 健太郎
 講 師 高橋 大輔 (ケアウイング)
14. 第 36 回西中国地区高等専門学校音楽祭
 主管校 呉工業高等専門学校
 吹奏楽の部: 会 場 呉市文化ホール
 期 日 平成 25 年 9 月 29 日 (日)
 軽音楽の部: 会 場 呉工業高等専門学校武道場
 期 日 平成 26 年 1 月 19 日 (日)

○ 寄附金の受入れ

受入年月日	寄附金の名称	寄附者	金額 (千円)	受入教員等
平成 25 年 4 月 22 日	学術研究助成金	公益財団法人中国電力技術研究財団	400	三村 陽一
平成 25 年 5 月 10 日	学術研究助成金	黒木 太司	800	黒木 太司
平成 25 年 6 月 28 日	学術研究助成金	一般社団法人日本鉄鋼連盟	200	河村 進一
平成 25 年 5 月 31 日	学術研究助成金	株式会社スターロイ	200	重松 尚久
平成 25 年 7 月 16 日	学術研究助成金	株式会社フジタ 技術センター	400	寺岡 勝
平成 25 年 7 月 12 日	教育研究助成金	呉東ロータリークラブ	100	森野 数博
平成 25 年 9 月 30 日	学術研究助成金	公益財団法人長岡技術科学大学 技術開発教育研究振興会	200	田中 慎一
平成 25 年 9 月 25 日	学術研究助成金	黒木 太司	1,000	黒木 太司
平成 25 年 10 月 10 日	学術研究助成金	株式会社社会勢建築構造研究所	100	泉 洋輔
平成 25 年 12 月 5 日	教育研究助成金	呉工業高等専門学校後援会	1,000	森野 数博
平成 25 年 12 月 25 日	学術研究助成金	黒木 太司	1,000	黒木 太司
平成 26 年 3 月 10 日	教育研究助成金	公益財団法人 NSK 未来ロク技術高度化財団	2,498	林 和彦
平成 26 年 3 月 6 日	学術研究助成金	黒木 太司	1,000	黒木 太司

○ 創立 50 周年記念事業協賛金の受入れ (平成 26 年 3 月 31 日現在)

法人 39 件 6,670 千円
個人 480 件 4,436 千円

○ 平成 25 年度学生数

本 科

平成 25 年 5 月 1 日 現在

学科 \ 学年	1	2	3	4	5	計
機械工学科	46 (1)	43 (2)	39 (1)	43 (2)	[1] 42 (1)	[1] 213 (7)
電気情報工学科	41 (3)	43 (3)	43 (3)	[1] 43 (1)	[1] 39 (3)	[2] 209 (13)
環境都市工学科	45 (6)	47 (11)	42 (9)	41 (4)	38 (8)	213 (38)
建築学科	40 (12)	49 (13)	[1] 40 (12)	42 (12)	40 (10)	[1] 211 (59)
計	172 (22)	182 (29)	[1] 164 (25)	[1] 169 (19)	[2] 159 (22)	[4] 846 (117)

※()内の数字は内数で女子を示し, []内の数字は内数で留学生を示す。

専攻科

専 攻 \ 学 年	1	2	計
機械電気工学専攻	11 (1)	15	26 (1)
建設工学専攻	9	11 (3)	20 (3)
計	20 (1)	26 (3)	46 (4)

※()内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 25 度寮生数

平成 25 年 5 月 1 日現在

学年 学科	学年						合 計
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	留学生	
機 械 工 学 科	22 (1)	16	11	14	9	1 (1)	73 (2)
電 気 情 報 工 学 科	18 (2)	17 (1)	16 (1)	9 (1)	10 (1)	2	72 (6)
環 境 都 市 工 学 科	15 (1)	15 (3)	11 (4)	8	5		54 (8)
建 築 学 科	14 (7)	13 (3)	9 (3)	9 (3)	12 (3)	1	58 (19)
本 科 生 計	69 (11)	61 (7)	47 (8)	40 (4)	36 (4)	4 (1)	257 (35)
専 攻 科	6	8 (1)					14 (1)

* ()内の数字は、内数で女子を示す。

○ 平成 25 年度学生会役員一覧

学 生 会 会 長	A4 桑田 千愛	広 報 委 員 長	E4 川元 洋介
学 生 会 副 会 長	A4 矢木 皓子	広 報 副 委 員 長	C3 小西 菜月
代 議 員 会 議 長	C4 延廣 耕作	選 挙 管 理 委 員 長	E4 上岡 広樹
代 議 員 会 副 議 長	E3 栗栖 哲士	選 挙 管 理 副 委 員 長	M3 正留 世紀人
文 化 環 境 委 員 長	M4 西岡 伸健	会 計 委 員 長	C4 原 夏樹
文 化 環 境 副 委 員 長	M3 堀 雄貴	会 計 副 委 員 長	A4 近藤 昭久
保 健 体 育 委 員 長	C4 徳丸 慎弥	会 計 副 委 員 長	A3 青野 芽生
保 健 体 育 副 委 員 長	E3 室川 英知	庶 務 委 員 長	E4 真砂 小春
高 専 祭 実 行 委 員 長	C4 横手 直哉	庶 務 副 委 員 長	A4 堤 光希
高 専 祭 実 行 副 委 員 長	C3 下鍛治 大樹	庶 務 副 委 員 長	C3 岡本 真尚
		書 記	E4 森下 瑛彦

○ 平成 25 年度前期 寮生会役員一覧

【 役 員 】

職 名	ク ラ ス ・ 氏 名	担当教員
寮 生 会 会 長	E5 木村 桂輔	高 津
寮 生 会 副 会 長	A4 堤 光希	
規 律 委 員 長	A5 蛸瀬 大貴	板 東
規 律 副 委 員 長	A4 近藤 昭久	
厚 生 保 全 委 員 長	C5 中原 和哉	光 井 谷 川
厚 生 保 全 副 委 員 長	A4 西村 航太	
レクリエーション委員長	A5 小林 秀道	蒲 地
レクリエーション副委員長	E4 下原 剛	

図 書 委 員 長	A5 麻村 晶子	影 山
図 書 副 委 員 長	E4 北谷 翔太	
庶 務	M4 大村 雅也 C4 福島 滉平	山田 (祐)

【 ライフマスター 】

担当区分	クラス・氏名	担当教員
1寮 2 F	A5 貞清 まどか	蒲 地
3 F	A4 矢木 皓子	
2寮 東1F	A5 小松 弘	山田 (祐)
西1F	E4 山根 貴大	
2寮 東2F	A5 田邊 誠妃	光 井
西2F		
2寮 東3F	C5 菅 聡司	谷 川
西3F	A5 丸田 遼太郎	
2寮 東4F	M4 幾久 健	板 東
西4F	M5 佐々木 充	
東5F	C5 内田 峻介	
4寮 1 F	E4 松本 直樹	影 山
1 F	M4 中村 和真	
2 F	A4 大谷 功貴	
2 F	M4 堂免 聖史	
3 F	M4 石原 諒大	
3 F	M4 尾越 匠	

○ 平成 25 年度後期 寮生会役員一覧

【 役 員 】

職 名	クラス・氏名	担当教員
寮 生 会 会 長	A4 堤 光希	高 津
寮 生 会 副 会 長	M3 中井 大介	
規 律 委 員 長	A4 近藤 昭久	板 東
規 律 副 委 員 長	A3 大室 拓也	
厚 生 保 全 委 員 長	A4 西村 航太	光 井
厚 生 保 全 副 委 員 長	A3 片山 聡	
レクリエーション委員長	E4 下原 剛	蒲 地
レクリエーション副委員長	E3 栗栖 哲士	
図 書 委 員 長	E4 北谷 翔太	影 山
図 書 副 委 員 長	E3 安井 大輔	
庶 務	C4 福島 滉平 A3 早川 佳江	山田 (祐)

【 ライフマスター 】

担当区分	クラス・氏名	担当教員
1寮 2 F	C3 八木 香澄	蒲 地

	2 F	A3 伊達 千尋	
	3 F	A4 矢木 皓子	
2 寮	東 1F 西 1F	M4 尾越 匠 M4 幾久 健	山田 (祐)
2 寮	東 2F 西 2F	A4 大谷 功貴 M4 堂免 聖史	光 井
2 寮	東 3F 西 3F	M4 中村 和真 M4 石原 諒大	谷 川
2 寮	東 4F 西 4F 東 5F	E4 松本 直樹 C3 藤平 卓也 A3 荒川 直人	板 東
4 寮	1 F 1 F 2 F 2 F 3 F 3 F	E3 村本 瞭真 A3 伊藤 裕貴 C3 濱岡 利基 E3 松葉 康平 A3 實成 優真 C3 河野 大地	影 山

○ 保護者懇談会

期 日 平成 25 年 6 月 22 日(土), 6 月 30 日(日)

会 場 本校

主な内容 ・全体懇談会
・学級別個人懇談会

出席者数 全体懇談会

6 月 22 日 (土) 190 名 (180 名)

6 月 30 日 (日) 90 名 (109 名)

7 23 計 280 名 (289 名)

出席率 40.9% (41.6%)

※注 () 内は, 昨年度を示す。

学級別個人懇談会

学年\学科		機 械	電気情報	環境都市	建 築	計	
1	学 生 数	46	41	45	40	172	
	出 席 数	6 月 22 日	23	25	24	20	92
		6 月 30 日	23	15	20	20	78
		その他	0	0	1	0	1
		計 (出席率)	46 (100.0%)	40 (97.6%)	45 (100.0%)	40 (100.0%)	171 (99.4%)
	欠 席 者	0	1	0	0	1	
2	学 生 数	43	43	47	49	182	
	出 席 数	6 月 22 日	21	17	23	24	85
		6 月 30 日	16	20	19	23	78

	その他	1	0	2	2	5	
	計 (出席率)	38 (88.4%)	37 (86.0%)	44 (93.6%)	49 (100.0%)	168 (92.3%)	
	欠席者	5	6	3	0	14	
3	学生数	38	43	42	39	162	
	出席数	6月22日	18	26	16	14	74
		6月30日	16	0	24	0	40
		その他	0	13	0	25	38
		計 (出席率)	34 (89.5%)	39 (90.7%)	40 (95.2%)	39 (100.0%)	152 (93.8%)
欠席者	4	4	2	0	10		
4	学生数	43	42	41	42	168	
	出席数	6月22日	20	17	18	21	76
		6月30日	19	23	18	18	78
		その他	0	0	1	2	3
		計 (出席率)	39 (90.7%)	40 (95.2%)	37 (90.2%)	41 (97.6%)	157 (93.5%)
欠席者	4	2	4	1	11		
計	学生数	170	169	175	170	684	
	出席数	6月22日	82	85	81	79	327
		6月30日	74	58	81	61	274
		その他	1	13	4	29	47
		計 (出席率)	157 (92.4%)	156 (92.3%)	166 (94.9%)	169 (99.4%)	648 (94.7%)
欠席者	13	13	9	1	36		

※注 学生数は、留学生及び休学者を含まない。

○ 第1回学校見学会

期 日 平成 25 年 8 月 4 日 (日)
 会 場 本校
 対 象 中学生、保護者及び中学校教職員
 主な内容 ・全体説明
 ・キャンパスツアー
 ・クラブ紹介活動パネル展示
 ・学科見学
 ・図書館や学生寮の見学
 参加者 中学生 341名
 保護者 274名
 教職員 0名
 合 計 615名

○ 平成 26 年度編入学者選抜学力検査

工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科、総合学科（主に工業に関する科目の履修者）、普通科又は理数科を卒業

した者（平成 26 年 3 月卒業見込みの者を含む）、本校において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者を対象に次のとおり実施した。

願書受付 平成 25 年 7 月 16 日（火）～18 日（木）

検 査 日 平成 25 年 7 月 31 日（水）

検査内容 試験（口述試問又は筆記試験）、面接

合格発表日 平成 25 年 8 月 2 日（金）

学科名・コース		募集人員	志願者	合格者
機 械 工 学 科		各学科若干名	0 (0)	0 (0)
電気情報工学科	エネルギー制御 コース		0 (0)	0 (0)
	情報通信 コース		0 (0)	0 (0)
環境都市工学科	建設システム コース		1 (0)	1 (0)
	環境システム コース		0 (0)	0 (0)
建 築 学 科			2 (1)	2 (1)
計			3 (1)	3 (1)

※（ ）内の数字は内数で女子を示す。

○ 中学校訪問

中学校の進路指導に関与される先生方に、高専制度についてより深い理解をいただき、高専を志望する生徒に対する適切な進路指導をお願いするとともに、新入生、在校生及び卒業生の状況を報告して、進路指導に役立てていただき、今後、中学校との良好な提携関係が樹立されることを目的としている。第 24 回目となった昨年度は、近隣地域の重点訪問校 54 校及び広島地域の訪問校 186 校の併せて 240 校を訪問した。

○ 平成 26 年度専攻科募集要項

推薦による選抜

募集人員 機械電気工学専攻 8 名（学力入学含む）

建設工学専攻 8 名（学力入学含む）

願書受付 平成 25 年 5 月 7 日（火）～10 日（金）

検 査 日 平成 25 年 5 月 17 日（金）

検査内容 面接

合格者発表 平成 25 年 5 月 22 日（水）

学力による選抜

募集人員 機械電気工学専攻 8 名（推薦入学含む）

建設工学専攻 8 名（推薦入学含む）

願書受付 平成 25 年 6 月 3 日（月）～7 日（金）

検 査 日 平成 25 年 6 月 15 日（土）

検査内容 学力検査（英語、数学、専門科目）、面接

合格者発表 平成 25 年 6 月 21 日 (金)

学力による選抜 (2 次募集)

募集人員 建設工学専攻 若干名
 願書受付 平成 25 年 9 月 24 日 (火) ~26 日 (木)
 検 査 日 平成 25 年 10 月 5 日 (土)
 検査内容 学力検査 (英語, 数学, 専門科目), 面接
 合格者発表 平成 25 年 10 月 11 日 (金)

○ 平成 26 年度入学者募集要項

推薦による選抜

募集人員 機械工学科
 電気情報工学科
 環境都市工学科
 建築学科 } 各学科とも入学定員の 40%程度

願書受付 平成 26 年 1 月 7 日 (火) ~9 日 (木)
 検 査 日 平成 26 年 1 月 18 日 (土)
 検査内容 作文, 面接 (個人面接), 適性検査 (グループ面接又は筆記試験)
 合格者内定 平成 26 年 1 月 24 日 (金)
 合格者発表 平成 26 年 2 月 21 日 (金)
 入学説明会 平成 26 年 3 月 6 日 (木)

学力による選抜

募集人員 機械工学科 40 名
 電気情報工学科 40 名
 環境都市工学科 40 名
 建築学科 40 名 } 計 160 名
 (推薦入学含む)

願書受付 平成 26 年 1 月 27 日 (月) ~31 日 (金)
 学力検査日 平成 26 年 2 月 16 日 (日)
 検査教科 国語, 社会, 数学, 理科, 英語
 合格者発表 平成 26 年 2 月 21 日 (金)
 入学説明会 平成 26 年 3 月 6 日 (木)

○ 専攻科インターンシップ事前研修会

期 日 平成 25 年 7 月 5 日 (金)
 場 所 専攻科棟講義室 (1)
 講 師 溝上 裕二, 谷村 忠
 対 象 専攻科 1 年生

○ 入試説明会

来春受験予定の中学 3 年生と保護者及び進路指導担当教諭を対象とした, 平成 26 年度入試説明を次のとおり開催した。

日 時	会 場	参加者数			備 考
		生徒・ 保護者	進路指導 教諭・塾	計	

10月6日(日) 14:00～	広島市 (広島大学東千田キャンパス)	80	0	80	
10月12日(土) 14:00～	福山市(福山YMCA)	50	3	53	
10月20日(日) 14:00～	三次市 (みよし公園カチャセンター)	9	1	10	
10月20日(日) 14:00～	東広島市 (東広島グリーンホールモリス)	39	1	40	
10月27日(日) 14:00～	呉市(本校)	103	3	106	

○ 特別見学

実施時期 平成 25 年 10 月 8 日 (火) ～11 日 (金)

学 科	主な見学先	引率教員	参 加 学生数
機械工学科 4 年	グアム (恋人岬, スペイン広場 外)	野村 高広 西坂 強	40名
電気情報工学科 4 年	東京・横浜 (ダイキン工業, 日産自動車外)	横瀬 義雄 横沼 実雄	40名
環境都市工学科 4 年	台湾 (台北 101, 花蓮外)	堀口 至 三村 陽一	35名
建築学科 4 年	東京・横浜 (東京スカイツリー, 赤レンガ倉庫外)	西宮 善幸 仁保 裕	42名

○ 第 2 回学校見学会

期 日 平成 25 年 11 月 2 日 (土)

会 場 本校

対 象 中学生, 保護者及び中学校教職員

主な内容

- ・全体説明
- ・学科見学
- ・学生寮紹介

参 加 者 中学生 92名

保護者 88名

合 計 180名

○ 平成 26 年度入学者選抜実施状況

本 科

学科名	入学 定員	推薦入学			学力検査		
		志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率
機械工学科	40	42 (4)	16 (3)	2.7	52 (3)	27 (0)	1.9
電気情報工 学科	40	58 (2)	16 (1)	3.6	69 (1)	27 (0)	2.6
環境都市工 学科	40	28 (6)	16 (5)	1.8	31 (4)	25 (5)	1.2
建築学科	40	44 (19)	16 (9)	2.8	47 (16)	27 (6)	1.7
合 計	160	172 (31)	64 (18)	2.7	199 (24)	106 (11)	1.9

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

専攻科

専攻	入学定員	試験 種類	志願者		合格者		倍率	
機械電気工学 専攻	8	推 薦	4 (0)	22 (1)	2 (0)	11 (1)	2.0	2.4
		学 力	18 (1)		9 (1)			
		社会人	0 (0)		0 (0)			
建設工学 専攻	8	推 薦	2 (0)	29 (7)	2 (0)	10 (3)	2.9	
		学 力	21 (5)		5 (1)			
		学 力 (二次募集)	6 (2)		3 (2)			
		社会人	0 (0)		0 (0)			

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 25 年度入学志願者及び入学状況

本 科

	機械工学科	電気情報工 学科	環境都市工 学科	建築学科	計
志願者	74 (1)	63 (4)	79 (12)	66 (21)	282 (38)
入学者	42 (1)	41 (3)	44 (6)	40 (12)	167 (22)

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

※ 志願者の数字は第一志望を示す。

専攻科

	機械電気 工学専攻	建設 工学専攻	計
志願者	17 (1)	13 (1)	30 (2)
入学者	11 (1)	9 (0)	20 (1)

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 25 年度卒業研究題目一覧

機械工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
歩行者頭部の加速度発生要因の解明に関する研究	尾川 茂	栗田 裕史
三角翼における縦渦の発生要因に関する研究	尾川 茂	高倉 諒
実車の A ピラー周りに発生する縦渦のサイドミラーによる制御に関する研究	尾川 茂	馬場 竜之介
MATLAB を活用した歩行者脚部の傷害値予測に関する研究	尾川 茂	平岡 純
ダイカスト製品における材料欠陥の実態調査による発生プロセスの解析について	西坂 強	大村 雅也 奥野 陽平
製造工程設計における工程歩留調査とその要因分析による最適化について	西坂 強	開地 翔平 檀上 晃和
多孔質内気液二相流の流動特性に関する研究	高津 康幸	柿谷 航平 木上 貴史
多孔質内強制対流の流動特性に関する研究	高津 康幸	幅野 将司 アティラ
金属ナノ粒子含有潤滑油の摩耗特性	中迫 正一	埜本 優樹 丸岡 弘侑
外科医による運針動作の解析に関する研究	岩本 英久	笹木 龍太 福本 悠介
介護ベット転落ケガ防止機構の開発	岩本 英久	平本 丈裕
視覚障がい者のための骨伝導ヘッドホン型環境把握装置の開発	岩本 英久	黒田 啓太
スコッチ・ヨーク機構を利用した尾ひれ推進船の試作	野村 高広	柏原 新之介 濱上 和成
簡易風洞装置の製作および水平軸風車の性能実験	野村 高広	竹田 淳平 向田 直樹
空気圧人工筋を用いたロボットアームの製作	山田 祐士	三上 智矢 山口 陵太
空気圧車椅子の制御	山田 祐士	上田 裕己 田中 孝典

3D プリンターを用いたポテンシャル・エネルギー・ビークルの製作	上寺 哲也	田中 匠太郎 林 信吾 船本 浩司
3D プリンターの基本性能に関する研究	上寺 哲也	横部 健
遅延故障の過剰テストを削減するためのテストパタン生成の高速化	吉川 祐樹	佐々木 充 新 孟大
遅延テスト容易な LSI 設計のための高位合成ツールの開発	吉川 祐樹	下重 達也 舟橋 圭佑 森上 祥伍
宇宙線非破壊検査のためのプロトタイプ装置の基本特性に関する研究	笠井 聖二	大江 成道
ドライアイス非使用型霧箱装置の開発研究	笠井 聖二	貞岩 雅人
RHEED による材料開発実験	林 和彦	内田 博也 新田 将
リバーズエンジニアリングの授業開発	林 和彦	黒瀬 雅央 森井 孝
災害に備えた方言ツールの作成システムの制作	深澤 謙次	浜野 幸歩

電気情報工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
16bit マイコンを用いたデジタルマルチメータの製作	田中 誠	森本 大貴
16bit マイコンを用いた USB オシロスコープの製作	田中 誠	瀬尾 倫崇
Kinect センサーを利用したスマートフォン用アプリケーションの開発	田中 誠	山本 和空
文字の読み取り紹介システムに関する研究	井上 浩孝	川本 卓生
Scala を用いた自己組織化ニューラル木立の並列化に関する研究	井上 浩孝	児島 大樹
自己組織化ニューラル木立を用いた追加学習に関する研究	井上 浩孝	都田 智大
自己組織化ニューラル木の可視化に関する研究	井上 浩孝	トウウィエンハー
可撓性を有するミリ波帯埋め込み型高誘電率誘電体伝送線路の研究	黒木 太司	北林 智
金属ロッド共振器を用いた 60GHz 帯 NRD ガイドガン発振器の研究	黒木 太司	寺本 慎
ミリ波帯フェーズドアレイアンテナの基礎的研究	黒木 太司	安永 弘樹
MATLAB を用いた DC サーボモータのパラメータ同定の検討	山脇 正雄	栗井 藍
DC モータ評価システムの製作と評価結果	山脇 正雄	池本 大地
Zigbee マイコンを用いた加速度計測システムの検討	山脇 正雄	渡邊 竜矢
交流抵抗測定とハーマン法の精度	板東 能生	植村 庸子
複数バッテリーの統合制御に関する基礎研究	板東 能生	木村 桂輔
スマートデバイスによる 3D データスキャナの試作	板東 能生	堀川 和也

非常用振動発電ライトの改良	板東 能生	松岡 航平
災害に備えた方言ツールの作成システムの制作	岩城 裕之	砂田 真紀
e-ラーニングによる教育支援システムの構築に関する研究	藤井 敏則	沼尾 学 山根 貴大
多関節アームロボットの製作	藤井 敏則	川口 竜弥
シーケンス制御・制御工学の実験教材の製作に関する研究	藤井 敏則	柳曾 啓一郎
大気圧非平衡プラズマの生成と計測	山崎 勉	坂口 飛鳥 高橋 直也
屋外用 LED スコアボードの開発	横沼 実雄	佐藤 憲治
圧電性を利用した振動発電に関する研究	横沼 実雄	清水 友順
スプレーCVD 装置の自動化に関する研究	横沼 実雄	水谷 亮介
急勾配地対応・電動アシストストレッチャに関する研究	横沼 実雄	山本 悠樹
小型飛行体の基礎研究	外谷 昭洋	西村 貴之 樋口 港汰
教育用電磁界シミュレータの開発	外谷 昭洋	山田 孝州
就職支援ツールの開発	外谷 昭洋	細田 翔
呼吸波計測用 Shield の製作	平野 旭	田尾 友里奈
Arduino を利用した水質バイオアッセイデータ集約システムの構築	平野 旭	平井 勇大
小型移動ロボットの EMG 制御	平野 旭	大久保 忠君 増川 翔哉
XBee を用いた防犯システム用通信に関する研究	横瀬 義雄	福岡 将人
マニピュレータの省エネルギー化アルゴリズムの検討	横瀬 義雄	三藤 翔太
ARM マイコン学習教材の開発	横瀬 義雄	宮川 康寛

環境都市工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
非公開	及川 栄作	伊藤 雄貴 馬越 唯斗
非公開	及川 栄作	瀧本 悠太郎
非公開	及川 栄作	中野 里菜 三上 里奈
フローポンプを用いた粘土の透水係数の決定法	森脇 武夫	青野 大希
呉市における降雨による斜面災害と降雨特性に関する調査研究	森脇 武夫	岩崎 翔汰
呉市の罹災データからみた災害特性と防災上の問題点	加納 誠二	植木 拓矢

活性汚泥をスカム化させる原因微生物の環境中からの探索	竹内 準一	内田 峻介
土木鋼構造教育用デジタル教材の試作	河村 進一	畝田 正樹
無機系防錆剤を塗布した鉄筋を使用した RC 部材の一軸引張・曲げ実験	三村 陽一	大迫 拓馬 菅 聡司
TBM センタービットの掘削性能に関する研究	重松 尚久	大廻 大起 前岡 裕太
石炭ガス化溶融スラグコンクリートの基礎特性に関する研究	堀口 至	小河 雄祐
流動促進装置による循環流の形成と成層破壊効果に関する研究	黒川 岳司	尾崎 裕太
ジェットポンプ式流動装置の混合および吸引力性能の向上に関する実験的研究	黒川 岳司	小野 翔輝
初期ひび割れ予測に用いる若材齢コンクリートのヤング係数に関する実験的検討	三村 陽一	数実 学 増木 貴之
牡蠣殻コンクリートの内部養生効果に関する研究	堀口 至	坂口 美里 須藤 佑朔
定ひずみ速度圧密試験における圧縮方向と排水方向が粘土の圧縮性と透水性に及ぼす影響	森脇 武夫	坂田 将大
防災教育のための基盤地図情報の利用	河村 進一	坂本 尚允
呉高専内の未利用バイオマスの有効活用法の検討	谷川 大輔	佐藤 凌
格子解析法による三次元計測のための最適撮影条件の検討	河村 進一	天竺 千紗 藤井 亜希
嫌気性バツフル反応器と好気性散水ろ床を組合わせた食品廃水処理システムの開発	谷川 大輔	中原 和哉
上向流嫌気性汚泥床と階段型散水ろ床を組合わせたシステムによる窒素含有廃水処理性能の評価	谷川 大輔	貝原 健太郎
呉市民を対象とした防災意識調査と防災教育の例	加納 誠二	長井 桃夏 山根 愛樹
花崗岩における TBM センタービットの最適化に関する研究	重松 尚久	檜崎 祐弥 村上 颯士
金属イオンを用いた水質浄化法における銅イオンの電解溶出特性	黒川 岳司	西尾 明紘
ジェットポンプ式流動装置における最適な装置形状に関する考察	黒川 岳司	西岡 恵里奈
土壌中に生息するトビムシの消化管内から分離される細菌	竹内 準一	花田 篤志
繰返し荷重が自然堆積粘土の圧縮性とせん断剛性に及ぼす影響	森脇 武夫	松岡 昌宏
牡蠣殻ポーラスコンクリートの保水性に関する研究	堀口 至	山内 健司

建築学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
ガラス繊維を用いた建築構造物の耐震補強・補修に関する研究	松野 一成	小林 秀道 坂光 郁乃 高木 涼子 田中 裕也 丸田 遼太郎
都市中心に建つ大型商業施設のフリースペースの多様性	下倉 玲子	瀬井 涼麻
日本の小学校における ICT 教育環境	下倉 玲子	松井 章純
英国・北欧・スペインの学校における ICT 教育環境	下倉 玲子	八塚 未夢
Fab. Street-呉れんが通り商店街再生計画-	佐々木 伸子	横山 貴史
子ども向け「住宅の消費者教育教材」に関する研究	佐々木 伸子	麻村 晶子
ふおレスト君田を対象とする道の駅アメニティ向上計画	佐々木 伸子	山田 萌子
西日本空き家の解体除去事業に関する研究-西日本を事例として-	篠部 裕	浦邊 裕樹
西日本空き家の適正管理条例に関する研究-西日本を事例として-	篠部 裕	藤田 将太郎
サッカースタジアムとまちづくり	篠部 裕	三好 美咲
自己歪を有するブレースの実験ならびに鉄筋コンクリート建物の常時微動計測	仁保 裕	荒光 怜 神田 亮平 武谷 翔樹 中野 大希
柱-通し貫接合部の変形特性に関する実験	光井 周平	池本 倫也 森川 翔平
伝統的木造建築物の耐震性調査	光井 周平	小松 弘
鋼構造建物の実務設計に関する考察	泉 洋輔	井手 司 貞清 まどか 中村 優作
手描き透視図の教育支援に関する研究	間瀬 実郎	浜野 尊之
新しい町屋をつくる-作り変えた壁面-	間瀬 実郎	蛸瀬 大貴
Aga marine park	間瀬 実郎	松浦 竜太郎
乗換駅の複合化計画	間瀬 実郎	柳川 かえで
アーチ組立倒壊体験キットに関する研究	間瀬 実郎	谷本 昂陽
熱流計を用いた着衣熱抵抗の測定方法の検討	大和 義昭	田辺 誠妃 田原 拓巳 椋原 元
建築における転用材の利用に関する史的研究	岩城 考信	新谷 美佳
呉市阿賀地区の都市形成に関する研究-海岸線の変化と蔵の立地に注目して	岩城 考信	渡部 桃子

呉市阿賀地区の農家と邸宅に関する研究	岩城 考信	小船 昇
呉市阿賀地区中通りにおける都市形成と現存する町屋に関する研究	岩城 考信	巻幡 泰広
阿賀の町で	岩城 考信	宮崎 太郎

○ 平成 25 年度専攻科特別研究題目一覧

機械電気工学専攻(機械系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
多孔質を通過する気液二相流のボイド率計測	高津 康幸	伊藤 勇
空気圧車椅子の開発	山田 祐士	岩佐 光次郎
金属ナノ粒子含有潤滑油の摩耗特性	中迫 正一	柿原 大毅
金属ナノ粒子含有潤滑油の焼付き強さ	中迫 正一	鎌倉 諒
直流モーターを利用した尾ひれ推進船の特性	野村 高広	木戸 志紀
空気圧人工筋を用いたロボットアームの開発	山田 祐士	松本 将司
ポンプ性能に及ぼす水温の影響	野村 高広	久保 駿平

機械電気工学専攻(電気系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
SMES による負荷変動平準化法に関する研究	藤井 敏則	武永 成生
94GHz 帯 NRD ガイドの研究	黒木 太司	井上 晋吾
自己組織化ニューラル木立を用いた追加学習に関する研究	井上 浩孝	梅本 雄大
自己組織化ニューラル木立を用いたパターン認識に関する研究	井上 浩孝	杉山 享志朗
新指数型進化的プログラミングの有効性に関する研究	井上 浩孝	向原 康平
SMP 法による熱電能測定精度と温度分布解析	板東 能生	池端 秀治

建設工学専攻(環境都市系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
画像解析による土木構造物の形状計測に関する研究	河村 進一	北村 淳貴
コミュニティ・ゾーンの整備効果およびニーズの経年変化分析	黒川 岳司	廣長 恵里菜
自然堆積粘土の透水特性と圧縮特性における異方性に関する研究	森脇 武夫	古屋 智郷
無機系接着剤塗布鉄筋を用いた RC 部材に関する基礎的実験	三村 陽一	下田 卓
石炭ガス化溶融スラグのコンクリート用細骨材としての利用に関する研究	堀口 至	白井 敦士

建設工学専攻（建築系）

特別研究題目	指導教員	学生氏名
自己歪を有する鋼構造物の耐震性能に関する基礎的研究	仁保 裕	岩本 天馬
空き家の適正管理と解体除却に関する研究	篠部 裕	占部 智大
新しい着衣熱抵抗測定方法の開発 —従来法での測定値比較による妥当性の検討—	大和 義昭	岡田 大相
伝統構法を用いた既存木造住宅の耐震性能評価法に関する基礎的研究	松野 一成	川口 佑紀
新しい着衣熱抵抗測定方法の開発 —姿勢及び衣服のサイズの違いによる測定値の比較—	大和 義昭	高橋 望
地盤の液状化を考慮した応答スペクトル法による地震荷重評価に関する研究	泉 洋輔	山木 典行

○ 卒業生数及び就職・進学状況

区分 学科・専攻	卒業生数			就職者数			進学者数			その他			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
本 科	機 械 工 学 科	41	1	42	30		30	11	1	12			
	電 気 情 報 工 学 科	36	3	39	25	1	26	8	2	10	3		3
	環 境 都 市 工 学 科	29	8	37	21	6	27	8	2	10			
	建 築 学 科	26	10	36	17	7	24	6	3	9	3		3
	計	132	22	154	93	14	107	33	8	41	3		3
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	13		13	8		8	5		5			
	建 設 工 学 専 攻	8	3	11	8	2	10					1	1
	計	21	3	24	16	2	18	5		5		1	1

○ 大学編入者等状況（学科別）

区分 学科	編入学等 希望者数		大学編入者数									高専専攻科 入学者数			編入学等 未決定者			その他		
			3			2			計											
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
機 械 工 学 科	1	1	12	8	1	9				8	1	9	3		3					
電 気 情 報 工 学 科	8	2	10	4	2	6				4	2	6	4		4					
環 境 都 市 工 学 科	8	2	10	6		6				6		6	2	2	4					
建 築 学 科	6	3	9	5	2	7				5	2	7	1	1	2					
計	3	3	8	41	2	3	5	2	8				23	5	28	10	3	13		

○ 大学編入者等状況（大学別）

区分 出身学科 大学・専攻科等	編入者数														1 年次入学者数					その他			
	3 年次編入者				2 年次編入者				計						1 年次入学者数					その他			
	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	計	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	計	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	計
立 国 東 京 農 工 大 学	1												1										

○ 産業別就職状況

区分	卒業生数	農 業・ 漁 業	建 設 業	製 造 業										電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	情 報 通 信	運 輸 郵 便	不 動 産 取 引 ・ 賃 貸	サ ー ビ ス	官 公 庁 ・ 公 団	就 職 者 計	
				食 品	織 維 工 業	化 学 工 業	金 属 製 品	一 般 機 械 器 具	電 気 ・ 情 報 機 械 器 具	輸 送 用 機 械 器 具	精 密 機 械 器 具	そ の 他	計								
本 科	機 械 工 学 科	42		2		3	1	4	5	4	5			2 2	1			1	3	1	30
	電 気 情 報 工 学 科	39		3	1		1	3	3	5	1			1 4	5	3			1		26
	環 境 都 市 工 学 科	37	2	9				1						1	4		4		4	3	27
	建 築 学 科	36		1 6					1					1	1	1		1	4		24
	計	15 4	2	3 0	1	3	2	8	9	9	6			3 8	11	4	4	2	12	4	10 7
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	13		1			1		3	1				5	1				1		8
	建 設 工 学 専 攻	11		7					1					1						2	10
	計	24		8			1		4	1				1 4	1				1	2	18

○ 平成 25 年度図書統計

1 利用 (開館日数 277 日)

貸出冊数・人数 (上段; 冊数 下段; 人数)

区分 学年	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	建 設 工 学 専 攻	合 計
1 年	70	148	33	56			307
	38	100	20	28			186
2 年	8	259	75	42			384
	6	154	57	32			249
3 年	93	209	71	191			564
	62	110	40	126			338
4 年	105	347	318	205			975
	48	217	170	126			561
5 年	111	356	126	132			725
	64	229	77	71			441
専攻 1 年					71	25	96
					35	16	51
専攻 2 年					103	77	180
					68	40	108
学 生 計	387	1,319	623	626	174	102	3,231
	218	810	364	383	103	56	1,934
教 員							270
							142

職員												281 175
学外者												161 73
合計												3943 2,324

入館者数

合計	33,079 人
----	----------

2 蔵書

平成 26 年 3 月 31 日現在

区分	分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
図書	和書	5,962	3,888	7,742	10,708	12,662	22,725	1,044	3,401	3,741	12,272	84,145
	洋書	533	480	161	305	1,004	1,462	23	71	1,854	1,337	7,230
	計	6,495	4,368	7,903	11,013	13,666	24,187	1,067	3,472	5,595	13,609	91,375

所蔵雑誌種類数

国内雑誌	1,034 種
外国雑誌	293 種

3 平成 25 年度文献複写依頼統計

区分	ILL		JST	国立国会図書館		その他	合計
	電子式	マイクロ		電子式	マイクロ		
件数	40	0	0	31	0	0	【311】 71
枚数	199	0	0	37	0	0	【1,219】 236

注) 【 】内は昨年度の合計を表す。

4 平成 25 年度相互貸借

区分	依頼	受付
件数	26	0

行事日誌

○ 4 月行事日誌

- 1 日 春季休業 (2 日まで)
- 2 日 学生寮開寮
- 3 日 入学式・編入学式, 入寮式, 新入寮生歓迎夕食会
- 4 日 始業式・対面式
専攻科新入生オリエンテーション
専攻科 2 年生新年度ガイダンス
新入生オリエンテーション (8 日まで)
- 6 日 遠足 (1 年) (雨天中止)
- 9 日 学生の健康診断 (25 日まで)
- 10 日 1 年担任会
- 12 日 入学者選抜委員会
- 18 日 専攻科入学説明会
- 19 日 学生指導委員会
- 20 日 新入寮生歓迎行事, 第 59 回寮生指導者研修会
- 24 日 寮生会総会
- 26 日 学生寮防災避難訓練, 専攻科生研究交流会 (27 日まで)
- 30 日 校内球技大会

○ 5 月行事日誌

- 7 日 専攻科推薦入学願書受付 (10 日まで)
- 8 日 カウンセラー講話 (1 年生 CA)
- 9 日 保護者参観公開授業
- 10 日 入学者選抜委員会
- 11 日 合同会社説明会
- 15 日 学生総会
カウンセラー講話 (1 年生 ME)
- 17 日 専攻科推薦入学試験
- 20 日 入学者選抜委員会 (専攻科推薦入学合格者判定会議)
- 22 日 専攻科推薦入学合格者発表
一般定期健康診断
- 23 日 前期中間試験 (29 日まで)
- 24 日 顧問会議
- 29 日 入学者選抜委員会

○ 6 月行事日誌

- 3 日 専攻科学力入学願書受付 (7 日まで)
- 6 日 学生寮映画祭
- 15 日 専攻科学力入学試験
- 16 日 おもしろ科学体験フェスティバル (呉)
- 21 日 専攻科学力入学試験合格者発表

- 22 日 保護者懇談会 (第 1 回)
学生寮保護者懇談会 (1 回目)
- 27 日 専攻科学位授与申請説明会
- 30 日 学生寮保護者懇談会 (2 回目)
学生寮保護者連絡会臨時総会
保護者懇談会 (第 2 回)
おもしろ科学体験フェスティバル (福山)

○ 7 月行事日誌

- 4 日 臨時入学者選抜委員会
安全標語の表彰式
- 5 日 専攻科インターンシップ事前研修会
第 49 回中国地区高専体育大会 (7 日まで)
- 13 日 第 95 回全国高等学校野球選手権記念大会広島大会
- 16 日 編入学試験願書受付 (18 日まで)
- 17 日 全学年担任会
カウンセラー講話 (第 3 学年)
- 26 日 前期末試験 (8 月 2 日まで)
- 31 日 編入学者選抜試験
入学者選抜委員会 (編入学判定会議)

○ 8 月行事日誌

- 1 日 海外派遣労働者健康診断
- 2 日 学生寮部屋替 (役員・LM・1 年生)
平成 25 年度第 1 回ブックハンティング
編入学試験合格者発表
- 4 日 学校見学会 (第 1 回)
- 9 日 閉寮前大掃除
- 10 日 夏季休業開始
学生寮閉寮
- 16 日 第 48 回全国高専体育大会 (9 月 1 日まで)
- 22 日 第 22 回西日本地区高専アーチェリー競技会 (23 日まで)

○ 9 月行事日誌

- 12 日 採用時健康診断
- 22 日 おもしろ科学体験フェスティバル (広島)
- 23 日 夏季休業終了
学生寮開寮
- 24 日 校長訓話
専攻科学力 (2 次募集 : 入学願書受付 26 日まで)
- 29 日 第 36 回西中国地区高等専門学校音楽祭 (吹奏楽の部)
- 30 日 寮生会総会

○ 10 月行事日誌

- 5 日 専攻科学力 (2 次募集) 入学試験

- 6 日 入試説明会 (広島)
- 8 日 特別見学 (11 日まで)
- 9 日 第 9 回ステップキャンパス (野呂山及び呉工業高等専門学校, 11 日まで。第 3 学年)
- 11 日 専攻科学力 (2 次募集) 入学試験合格者発表
- 12 日 入試説明会 (福山)
- 13 日 全国高等専門学校第 24 回プログラミングコンテスト (14 日まで)
- 16 日 就職ガイダンス (環境都市工学科, 建築学科)
全学年担任会
- 19 日 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2013中国地区大会 (20日まで)
- 20 日 入試説明会 (東広島, 三次)
- 21 日 第 60 回寮生指導者研修会 (グリーンピアせとうち)
- 22 日 保護者参観公開授業
- 23 日 体育祭り
- 27 日 入試説明会 (呉)
- 31 日 寮祭

○ 11 月行事日誌

- 1 日 高専祭準備
- 2 日 学校見学会 (第 2 回)
第 49 回高専祭 (3 日まで)
- 8 日 第 49 回中国地区高等専門学校体育大会 (冬季大会) (10 日まで)
- 9 日 全国高等専門学校デザインコンペティション 2013 (10 日まで)
第 6 回 3 次元デジタル設計造形コンテスト (10 日まで)
- 15 日 第 29 回中国地区高等専門学校英語弁論大会 (16 日まで)
- 19 日 後期中間試験 (25 日まで)
- 20 日 永年勤続者表彰式
- 22 日 顧問会議
- 25 日 平成 25 年度第 2 回ブックハンティング

○ 12 月行事日誌

- 3 日 英語統一テスト
文化行事
- 11 日 ハラスメント防止講演会
- 18 日 ガイダンス (機械工学科)
- 19 日 第 45 回スポーツリーダーズセミナー
- 21 日 学生寮閉寮
- 25 日 冬季休業開始

○ 1 月行事日誌

- 7 日 冬季休業終了
推薦入学試験願書受付 (9 日まで)
学生寮開寮
- 14 日 学習到達度試験 (3 年)
- 15 日 オリエンテーション会議
就職ガイダンス (機械工学科)

- 18 日 推薦入学試験
- 19 日 第 36 回西中国地区高等専門学校音楽祭（軽音楽の部）
- 22 日 校内駅伝大会
- 24 日 推薦入学合格内定者発表
- 25 日 合同会社説明会
- 27 日 学力入学試験願書受付（31 日まで）
- 29 日 安全衛生に関する講習会
- 30 日 就職ガイダンス（建築学科）

○ 2 月行事日誌

- 6 日 学年末試験（14 日まで）
- 14 日 卒業前の指導
卒業寮生歓送夕食会
- 16 日 平成 26 年度入学者選抜学力検査
- 21 日 入学者選抜合格者発表
- 26 日 終業式
閉寮前大掃除
- 27 日 学生寮部屋替
- 28 日 学生寮閉寮

○ 3 月行事日誌

- 6 日 入学説明会
- 10 日 学年末休業（31 日まで）
卒業・修了認定，進級判定会議
- 18 日 卒業式・修了式
- 19 日 入学手続（20 日まで）
- 28 日 校長表彰
永年勤続者表彰式並びに名誉教授称号授与式

その他

○ 叙位・叙勲

元事務部長 水谷 進
従五位に叙し，瑞宝双光章を授ける。（平成 25 年 12 月 31 日）

○ 訃 報

以下の諸氏が逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表し，ご冥福をお祈りいたします。

呉工業高等専門学校元事務部長 水谷 進氏 平成 25 年 12 月 31 日 享年 64 歳
呉工業高等専門学校名誉教授 茶木 正吉氏 平成 25 年 11 月 5 日 享年 86 歳